

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年9月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104068
法人名	有限会社 健眞
事業所名	グループホーム すずらんの家
所在地	鹿児島県鹿児島市平川町1547番地 (電話) 099- 284- 2655
自己評価作成日	平成29年8月5日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年8月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・午前中の軽体操で体力を保っている
- ・洗濯物たたみを利用者と職員と共同で行なう
- ・家族支援により外出(墓参り、病院受診、食事)
- ・天気の良い日の散歩(30~40分)
- ・季節に応じた事業所内の掲示物や飾り物を利用者と職員と共同で作成
- ・ホールにて調理の味見手伝い

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は平屋1個建てのグループホームである。近隣に同法人の有料老人ホームや通所介護事業所・障害者の就労支援センター等があり、合同行事に参加したりして交流している。
- ・町内会に加入し、地域行事への積極的な参加や事業所行事への地域住民の参加があり交流が行われている。菜園で採れた野菜などの差し入れや散歩の途中に立ち寄ってお茶を飲んだりして、日常的に交流が持たれている。
- ・日常生活でリハビリに力を入れ、午前・午後の筋力低下予防のための軽体操や口腔体操を実施、洗濯物たたみ・掃除・散歩を日課にするなど、機能維持・向上を図っている。
- ・施設長・管理者は職員の資質向上に努め、資格取得に向けた支援を行っている。運営に関する職員の意見や提案から、親切・丁寧な介護の実践に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	常に職員が理念を意識するようにホール、事務所に掲示し、利用者と共有できるよう、心掛けています。職員会議の場でも理念についての話し合いも行なっています。	基本理念と職員全員で考えた事業所理念があり、玄関・ホール・事務室に掲示している。毎月1回の職員会議において唱和と理念に沿ったケアの振り返りを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	代表者が町内会に入会しており回覧板にて行事も早く知る事が出来、鏡開きやお茶会等の行事にも参加したり、園内で行う敬老会、花見等に地域の老人会に来ていただいております。時折、障害者施設より訪問にも来ていただいております。	町内会に加入、回覧板や運営推進会議での情報で夏祭りや六月灯等で地域行事への参加や散歩時の声かけやあいさつで交流を図っている。法人全体の行事や事業所単独の行事へ婦人会や地域の演芸ボランティアの参加があり、地域と交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議や地域行事の参加等を通して認知症の人の理解をして頂けるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に一度のペースにて会議を行っており、様々な意見を参考にさせていただき、その中からサービス向上に役立つ取り組みを実施しています。</p>	<p>会議は、2ヶ月に1回開催し、多人数の出席を呼びかけている。事業所の状況報告や行事・事故・ヒヤリハット報告・認知症についての勉強会等を行っている。参加者から大雨や地震の際の対策や避難場所の確認など意見が出され、出された意見や提案は運営に反映させている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市担当者の方とは、書類関係等で話し合い、地域包括支援センター職員とは空き情報等で連絡を取り合って協力関係を築いております。運営推進会議にも出席いただき、その都度多用な事を相談している。</p>	<p>書類関係や相談・報告で出向いたり電話で連携している。運営推進会議での地域包括支援センターとの連携、保護課とも連携が取れている。市主催の研修会への参加や毎年、市相談員を受け入れるなど協力関係を築けるよう取り組んでいる。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>前回の自己評価同様、管理者、ケアマネージャー、施設長、職員全員で勉強会を行っており職員全員が理解して拘束しないケアを行なっています。</p>	<p>年2回職員研修で、指針・マニュアルを基に事例検討等で共通認識を図り、必要時には職員間の連携を図り見守りや付添いを行うなど、言葉による拘束も含め身体拘束ゼロを実践している。昼間玄関の施錠をせず、見守りを密にしながら全職員が利用者の自由な暮らしを支えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>特に会議のみでなく、常々職員間でも話し合っており、特に入居者外泊及び帰園後、入浴時が一番判明しやすく、万が一あった場合は家族に詳細を聞く様心掛けています。又、日中のケア時は一人にしないように声かけを行なっています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>自立支援はもちろんの事、後見人制度については、社長、施設長が勉強されています。又、同系列のディサービスで成年後見人制度を活用しており、担当の後見人の方とも常に相談しています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に具体的な説明をし、本人、家族と事前面談を行なっています。特に急変時対応を理解していただくようにしております。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご利用者の不満、苦情があった場合には管理者や職員は家族の方へ連絡し、家族の方の声及び意見を参考し反映させています。苦情処理委員会を設け、玄関に意見箱を設置して投函していただくようにしております。</p>	<p>利用者からは会話の中から思いを汲み取るように心がけている。家族からは面会時や状況報告時に気軽に意見や要望を出してもらえるよう心がけている。家族から筋力低下の不安が聞かれ、洗濯物を一緒に干したり掃除をしたり、毎朝、軽体操を行いケアに反映させている。意見箱も設置している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議や業務時などで職員の意見や提案を聞くようにし、運営に反映しています。また必要に応じ、代表者や管理者から職員への意見の問いかけも行なっています。</p>	<p>申し送り時や職員会議において意見や提案などを聞く機会を作っている。管理者は日頃から声をかけるなどコミュニケーションを図っている。ケアに関する意見や提案が多く、利用者の座席やベッドの高さ・位置、介護の方法など、職員の意見をケアに反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の離職を無くするよう努めています。勤務状況もなるべく本人希望休みも聞き入れ、毎年少量ではあるが昇給も行なっています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内勉強会、各方向からの研修、講習会に参加しており、報告書を提出させて発表の場を作りサービス向上を図っています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>谷山南部地区開催の勉強会に参加し、その内で同業者の方と話し合う機会もあり、お互いの困難事例、その他を学ぶようしております。又、南谷山地区GHI、宅老所で連絡協議会を立ち上げ様々な意見交換をしております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族と電話及び来所され相談がある場合にご本人より困った事、困っている事をよく聞き取り、不安な事は何かを受けとめるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族来所時、又は電話にてよく話し合う機会を設けて、困っている事に傾聴し、ご家族の不安を取り除くよう、機会を設けています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族がサービス利用で一番何を求めているかを本人、家族と十分な話し合いをし、その中から求めているものを見極め、様々なサービス利用（提供）を考慮しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員と一緒に調理の下ごしらえをしながら献立を教えて頂いたり、また職員も折紙を教えたりとお互いが協力し合っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族のいろいろな思いを面会時にケアマネージャー、管理者、職員が聞き取り、お互いの悩み事を話し合いながら支援しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前、住んでいた地域と離れた人は電話、手紙、葉書等で交流を図るよう支援し、家族の協力も得られています。これまでの生活歴も家族及び本人より聞き取り全員で把握しています。	入所時のアセスメント情報や日頃の会話等からの情報を職員全員で共有している。手紙やはがき・年賀状などの支援、電話の取次ぎや面会に来やすい環境づくり、地域行事への参加や家族の協力で墓参りなど馴染みの人や場所の関係が途切れないよう心がけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	施設内での軽体操やレクリエーションの中でお互いに意思の疎通が取れ支え合っています。うまくコミュニケーションが取れない時は、職員がお互いの話を傾聴し、コミュニケーションが取れるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用停止していても、ご家族にはいつでも相談にのれる様、家族との関係は保っている。又、他施設等移動がある時も受入れ施設と連絡を密にし話し合いもしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の希望、思いを聞き取り利用者本位のケアが出来るよう努めています。ケアマネージャーの下、管理者及びなじみの職員も聞き入れに同席し密に希望意向を聞き入れています。聞き入れ困難な場合はご家族よりお話を聞いています。	日常生活の中での聞き取り、特に入浴時や夜勤時などゆっくり話ができる時間帯を大切に思いや意向を把握するよう努めている。把握した情報は申し送りノートやカンファレンスで共有している。困難な場合は家族からの情報や日常観察から本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴をご本人、家族から聞き取り、職員全員で把握しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人、一日の過ごし方は様々であり、その利用者にあった生活が出来るよう、アセスメントして把握しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議又は、スタッフカンファレンスを開催し、本人、家族にも同席して頂き意見を出し合い介護計画を作成しています。	毎月のケース会議においてモニタリングを行い、6ヶ月で評価見直しをしている。担当者会議やカンファレンスを開催し、利用者の思い・家族の意向を確認・主治医の意見・職員の意見を踏まえ、介護計画の見直しを行っている。状態変化時には随時、見直しを行い、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者本人の言葉を用いた記録を行い、本人の思いに気付くよう、職員同士情報を共有しながら見直しをしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	通院支援（病院受診）、自宅帰省、墓参り、本人家族の希望があれば出張マッサージ、鍼等を状況に対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティア参加によるレクリエーション、消防避難訓練、文化施設への訪問、地域の町内会長、民生委員から地域の情報や助言を貰っています。又、警察、消防には消防訓練を含めできうるかぎり来園していただくようにしております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者本人の心身状況を考慮した医療機関を受診していきながら適切な医療を受けられるようにしています。	協力医の2人の医師がかかりつけ医となっている。管理者または看護師が連携を取りながら4週毎の往診と必要時には随時往診がある。専門医受診は家族の協力を得ながら職員が対応、受診結果は管理者または看護師が主治医や家族へ報告している。歯科往診も受けられる体制となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>主治医である敬愛クリニックに月1回以上の受診をし、なじみの関係を築き看護職員、介護職員と日常の健康管理をしています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者が入院された後にも病院に出向き担当医師の説明を受けその情報をもらい、家族の希望に沿えるよう相談にのり、いつでも戻れるように連携しています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>利用者の心身状況を日頃より報告しており重度化した場合の対応については本人、家族、医療機関と話し合っている。又、家族に対して重度化になった場合の対応に対してアンケートにて解答をもらっています。また、重度化や終末期に向けた対応の指針を作成しています。</p>	<p>指針・マニュアルがあり、入居時に説明を行い、アンケートにて確認し思いを共有している。職員体制の充実を図り、必要時には、主治医と連携しながら事業所でできることを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>医療業務協力を結んでいる医療機関より来ていただき、施設内にて救急蘇生等の研修を行なっています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>昼間、夜間で想定し避難訓練を行なっている。運営推進会議開催の中で災害時には地域住民の方々の協力を得るように働きかけを行なっています。</p>	<p>年2回、昼夜想定消防避難訓練をマニュアルを基に実施している。通報装置・スプリンクラー設置・連絡網に地域住民の登録があり協力体制も整っている。災害時の避難場所・避難経路について確認をしている。備蓄については、法人全体で水・食料品等を管理している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報に関する契約を家族及び職員と取り交わしています。誇りやプライバシーを損ねない声かけ等で対応しています。記録も適切な取り扱いに気を配っています。	マニュアルを基に定期的に勉強会を開催し、映像を使った教材を活用して確認と意識の統一を図っている。人格の尊重とプライバシーに配慮した声かけと対応を心がけている。言葉遣いや声かけは日々チェックし、尊敬の気持を持って利用者に寄り添ったケアを行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常に本人の好みの物、希望することを問いかけ、本人の意思決定を重視しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常の流れに利用者を沿わせず、一人一人のペースによって本人の望む生活を支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	できうる限り自分の好みの洋服が着れるよう、本人に問いかけ選んでもらっている。散髪や頭髮染め、等々も本人の希望に合わせています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>箸の並べ、味見、お茶等、行なっている。できない方には職員が手伝っています。</p>	<p>嗜好調査を基に食事形態や代替え食など工夫している。下ごしらえや台拭き・味見・つわむきやらっきょ漬など、利用者が個々にできることを行っている。家族も参加しての誕生会や季節の行事食、菜園で収穫された旬の食材を使用した食事が楽しみなものになるよう工夫している。食物繊維の多い食品を献立に取り入れている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>お茶や水は常時飲めるように工夫し食事時は、毎食摂取量をチェックしている。水分補給に関して密に利用者とコミュニケーションをとり、その度に声掛けをし、水分補給しています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>歯ブラシを使用しての口腔ケアの自立支援及びポリデント等による義歯洗浄を週1回行なっています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	全員ではありませんが、基本的にオムツを使用せず、下着も布パンツやリハビリパンツを使用、排泄は昼間はトイレをしようしてもらっていますが、夜間は立位困難や転倒リスクがあり、トイレにて排泄困難な方のみオムツや尿とりパット使用しています。	排泄パターンの把握を行い、基本的にはトイレでの排泄を支援している。パットの種類の検討を行ったり、夜間のみパットのを使用するなど、それぞれの自立に向けた支援を行っている。食事の工夫や水分補給、口腔体操や軽体操で体を動かし、自然排便と排泄の自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	野菜等、食物繊維の含有を摂るようにし、水分をこまめに取るようにしている。又、軽体操を毎日行い排便確認をして便秘による体調不良を防ぐようにしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的に週2回の入浴とし、月金及び火土と入浴日を定めているが、失禁時、体調不良時を考慮し、その時の利用者合ったタイミングでいつでも入浴できるよう努めています。	基本的には週2回の入浴となっているが、状況に応じて終日入浴可能な体制である。会話を大切にし、必要時には二人介助で支援し安心して入浴できるよう心がけている。拒否のある利用者には、声かけの工夫や時間差で対応、必要時には清拭や足浴などを行い、個々に応じた入浴の支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している	消灯時間は決まっているが、そ れぞれ好きな時間に居室に行か れ入眠されている。休憩に関し てもご自分の好きな時、休息さ れています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の 変化の確認に努めている	利用者が処方されている薬の服 薬台帳を作成し、職員全員が理 解し服薬支援を行なっています。 又、変化があった場合、主治医 と連絡を取り合い服薬支持を仰 いでいます。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生活 暦や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援を している	できる方には洗濯物たたみ、調 理の味の確認をする役割があり 楽しんで行なわれている。歌や 踊り等その方々の生活歴、趣味 に活かした生活を支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう に支援に努めている。また、普 段は行けないような場所でも、 本人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	天気の良い日は散歩に出掛け たり、隣接する同系列のディス サービスと合同で園外散歩にも 行かれたり、利用者と家族の希 望に沿った個別の外出支援も行 っています。又、家族の協力を得 ながら墓参りや食事等に出掛け るよう支援しています。	天候や体調に配慮して周辺の散 歩や近くの公園に出かけたり、 デイ利用者との交流が日課と なっている。年間計画での花見 や地域行事、近隣の福祉施設の 秋祭りや夏祭りへの参加交流 などがある。家族の協力を得な がら墓参りや外出など、日常的 に戸外に出かけられるように支 援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現在金銭管理のできる利用者がいらっしゃらないので、お金を所持している方はいないです。金銭管理のできる利用者がいらっしゃれば、個人で財布を持たれ家族同意の下で管理して頂きます。又、利用者の希望があればスタッフ同行で自由に買い物ができるよう支援しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話をかけたい希望があれば、いつでも事務所よりかけていただきます。葉書や手紙、年賀状等も書いてもらっています。又、手紙、年賀状も相手の方より頂いています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>天井からの採光や窓からの外の様子から今日の天気がわかり、山からの季節感も感じられます。横にはJRの線路があり電車の音があり生活感も感じられます。ホーム内で生花や季節にあった装飾品を採り入れています。</p>	<p>木目の落ち着いた雰囲気共用空間は天井が高く、天窓からの採光や窓からの陽射しで明るく開放感が感じられる。生け花や壁には写真や手芸品などが飾られ季節を感じることができる。居心地良く過ごせる工夫がなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>肘掛け椅子が並んでいる所で腰掛け仲良く語ったり、ご自分の居室に招かれベッドの上に腰掛け、お話されています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ダンスやベッドは備品であるが、他の物は本人の好みの物が持ち込まれダンス、ベッドの位置も家族と話し合いながら自分が居心地よいように工夫されています。</p>	<p>居室にはベット・ダンス・エアコンが備えつけられ、それぞれが椅子・テーブル・ハンガー等を持ち込み、写真や手芸品を飾っている。窓は大きめの高窓で明るい。何時でも好みの服装ができるようにハンガーに衣服・バッグ・帽子がかけられ、入居者が居心地よく過ごせるよう配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>フローアー全面に手擦りを設置し、段差無くバリアフリーとなっています。トイレ、風呂場、浴槽内にも手擦りを設置しており自立できるように工夫しています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない